

Colorful

Vol. **27**



～からふる～ 2010.初夏
2010年3月議会報告

ミッチーの
ON/OFFブログ
更新中!!

発行責任者：小林 美智子

(事務所) 〒567-0828 茨木市舟木町13-11 TEL&FAX 072-638-9228

http://www.kobamichi.net Mail : info@kobamichi.net



小林みちこ

プロフィール

- ◆ 1967年生まれ。しし座のB型。
- ◆ 保育所の保護者会活動を通じて茨木市政に興味をもち、2005年の市議選に無所属でチャレンジし、初当選。4年間市民一人ひとりとのつながりを大切にしながら活動を続け、2009年1月の市議選で2期目にチャレンジ。2,222票をいただき、当選。現在2期目。
- ◆ 今期から会派「刷新市民フォーラム」に所属。民生常任委員会委員。監査委員。
- ◆ 趣味：ジャズダンス
- ◆ 家族：夫と子どもの3人暮らし
- ◆ 好きなことば：思い立ったが吉日

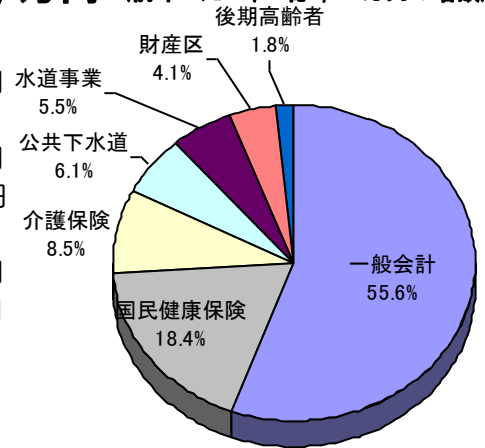
あせらずに茨木のこれからを考えたい

3月議会で2010年度当初予算が可決されました。

◆ **全会計 1,409億 9,368万円** (前年に比べ、40億4,300万円の増額)

<内訳>

一般会計	782億8,000万円
財産区会計	58億1,339万円
国民健康保険	259億3,689万円
老人保健	2,666万円
後期高齢者医療	25億6,904万円
介護保険	120億2,250万円
公共下水道	86億 700万円
水道事業	77億3,820万円



2010年度予算では…

●市税収入がさらに減少する

2009年度の市税収入見込みは、法人市民税の落ち込み等により前年度比較で14億円減少しました。

2010年度は個人市民税の落ち込み等により、さらに12億円の減収が見込まれます。

●足りない分は、基金と市債で補う

市税等の減少による財源不足は、基金(貯金)を8億取り崩し、また市債(借金)の借り入れにより対応しています。

その結果、貯金が減り借金が膨らむ傾向が続いています。

茨木市だけではなく、どこの自治体も厳しい財政状況が続いています。

「明日のために今、我慢できることは何なのか」「将来世代にどんな街を残したいのか」財政が厳しい中だからこそ、将来を見据えて、私たちがやるべきことをあせらずに考えていきたいと思えます。

茨木市議会議員

小林 美智子

★2010年度予算★

一般会計	782億8,000万円
(前年比)	105.5% (40億8,000万円)
特別会計	549億7,548万円
(前年比)	101.2% (6億6,769万円)

2010年度の予算です

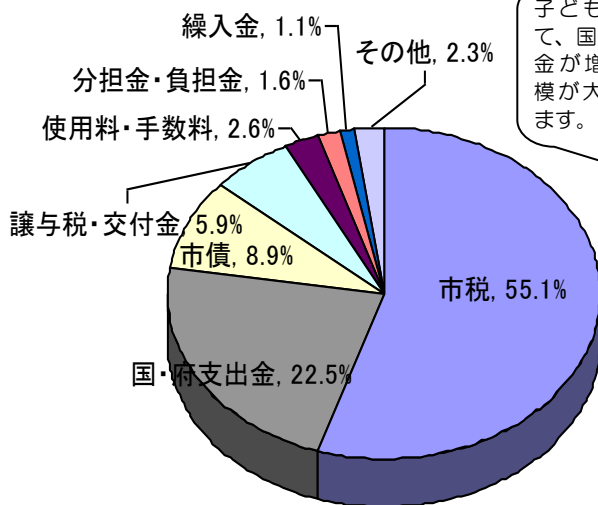
一般会計

783億円

歳入



市民一人あたりの収入 (人口273,480人で計算) 合計 286,233円 (対前年 +14,919円)	
市税	157,598円 (- 3,071円)
国・府支出金	64,516円 (+ 18,221円)
市債	25,441円 (- 253円)
譲与税・交付金	17,021円 (- 943円)
使用料・手数料	7,584円 (- 282円)
分担金・負担金	4,458円 (+ 198円)
繰入金	3,021円 (+ 1,117円)
その他	6,594円 (- 68円)



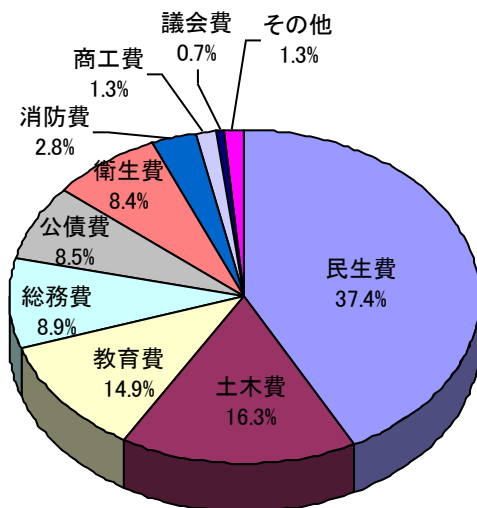
子ども手当ができて、国からの補助金が増え、予算規模が大きくなっています。



市税では、個人市民税が14億円減額。
国・府支出金では、子ども手当が創設され、47億6,000万円増額、また生活保護費が7億円の増額。

- 市税…市民税、固定資産税、都市計画税、軽自動車税、たばこ税など
- 国府支出金…特定の目的を持った費用に充てるために、国または府が、市に支出する補助金や委託金など
- 市債…市の借金
- 譲与税・交付金…国や府に入る税金の一部が市に譲与・交付されるもので、特に用途は限定されていないもの
- 使用料・手数料、分担金・負担金…施設の使用料や福祉に関する受益者の負担金など
- 繰入金…基金(市の貯金)や他の会計からの繰入金
- その他…財産収入、寄付金、繰越金、諸収入

歳出



- 民生費…福祉や保育などにかかる費用
- 土木費…道路や公園などの整備費用
- 教育費…学校や生涯学習などにかかる費用
- 総務費…市の全体的な管理に必要な費用
- 公債費…市の借金を返済する費用
- 衛生費…ごみ処理や環境対策、健康づくりに必要な費用
- 消防費…消防救急にかかる費用
- 商工費…消費生活センター運営、中小企業支援などの費用
- 議会費…議会運営、議員報酬などの費用
- その他…労働費、農林費、諸支出金、予備費

市民一人に使われているお金 (人口273,480人で計算)

合計 286,233円 (対前年 +14,919円)	
民生費	120,585円(+19,261円)
土木費	47,002円(+ 6,470円)
教育費	32,905円(-11,183円)
総務費	24,531円(+ 454円)
公債費	21,132円(- 1,933円)
衛生費	22,166円(- 524円)
消防費	8,531円(+ 960円)
商工費	3,798円(+ 309円)
議会費	1,941円(- 56円)
その他	3,640円(+1,161円)

子ども手当創設のため、民生費の伸びが大きくなっています。
また、南市民体育館建設費が約18億減などで教育費が減っています。

一般会計783億円、特別会計550億円の予算が決まりました。

()は対前年

特別会計	
550億円の内訳	
財産区※1	58億1,339万円(- 1億1,995万円)
国民健康保険事業	259億3,689万円(+ 3億7,423万円)
老人保健医療事業※2	2,666万円(- 4,368万円)
後期高齢者医療事業	25億6,904万円(- 1億3,054万円)
介護保険事業	120億2,250万円(+ 8億3,863万円)
公共下水道事業	86億 700万円(- 2億5,100万円)
水道事業	77億3,820万円(- 7億 476万円)

一般会計からの繰入金は法定内と法定外に分けられる。
例えば国保会計の場合、保険料軽減制度適用の補てん分などが国・府の負担分とともに【法定内】として繰り入れられる。20億円のうち、約13億円が法定内繰入にあたる。このほか市の独自の措置や収入不足等を補うための繰入が【法定外】として繰り入れられる。約7億円が法定外繰入。



一般会計からの繰入金

特別会計

550億円

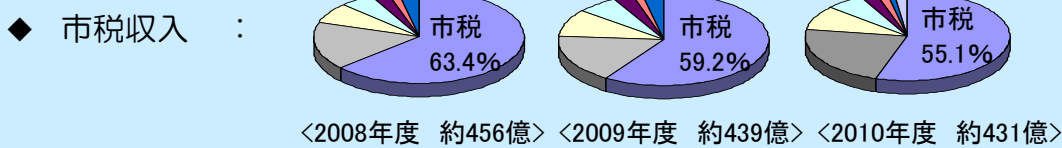
※1 財産区…市町村合併の際に、もとの市町村が所有や管理していた土地や財産を新市町村に引き継がずに旧市町村の地域で管理、処分するために設置された行政組織のこと。

< >は市民一人あたりの換算額

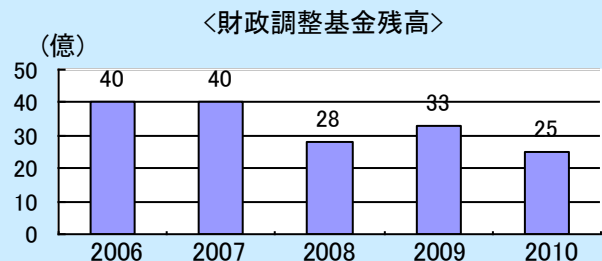
※2 老人保健医療事業は後期高齢者医療に移行され、残務処理のための予算。

数字で見る茨木市の状況は…

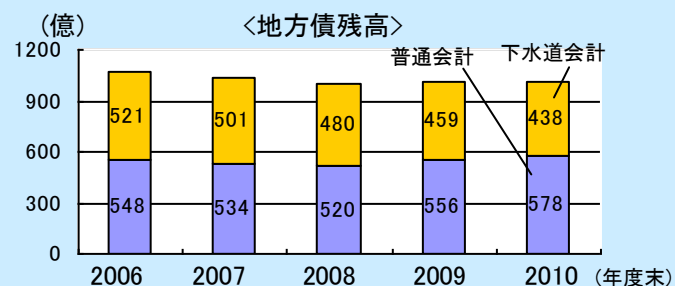
- ◆ 市域面積 : 76.52km² ◆ 人口 : 約27万人
- ◆ 職員数 : 1,702人 (一般行政、教育、消防、水道も含む) <2009年4月1日現在>



- ◆ 財政調整基金残高 :
市民一人あたり 9,141円
<2010年度予算より>
基金とは、自治体が行う貯金のこと。
予期せぬ収入減や緊急の支出に対応するため、「財政調整基金」を積み立てている。そのほかに特定の目的に使うために行う「特定目的基金」もある。



- ◆ 地方債残高 :
市民一人あたり 371,508円
<2010年度末見込み>
普通会計で211,350円、下水道会計で160,158円の借金を背負っていることになる。



小林みちこの 3月 議会での質問です



◆学童保育事業の課題の洗い出しを！

●茨木市の学童保育事業は…

- ・昭和42年から「留守家庭児童会事業」として実施。教育委員会が所管。
- ・平成9年の児童福祉法改正で、学童保育事業が児童福祉法に定められる。
このことにより、福祉分野を所管する市長部局の事業と位置づけられたが、実施場所が小学校内ということもあり、教育委員会が市長部局から委任を受け、継続実施してきた。
- ・担当は青少年課。

●課題だったこと

- ・児童福祉法に定められている事業なのだから、やはり福祉分野を所管する市長部局が担当するべきではないか？
- ・社会状況の変化により、就労支援対策として学童保育事業の重要性が増してきた。
青少年課のひとつの事業としては限界があるのではないか？

これらの課題を改善するため、またより一層の事業の充実を図るため、所管を市長部局に戻し、こども育成部に「学童保育課」が新設されました（2010年4月1日より）。学童保育のニーズが高まる中、学童保育事業がひとつの課として独立したことは、とてもうれしいことです！

今後、現状の課題を洗い出し、整理をしていく中でよりよい制度づくりをめざしてほしいと**小林**は要望しました。

<2010年度からの改善点>

- ・土曜日、長期休業中の開室時間が9:00→8:15に。
- ・お盆時期の休室が廃止に。
- ・年末年始の休室が短縮に。（今までは12/28～1/7→12/28～1/4に。）

◆公立幼稚園の預かり保育の今後の展望は？

現在、全公立幼稚園で実施されている預かり保育。茨木・天王・西・東雲の4園ではモデル実施として、時間延長や長期休業中の実施を行っている。

今回、モデル実施の拡充として、右表のような条件拡充が提案された。

かんたんに言うと、

- ・8:00～18:00まで幼稚園での預かりが可能。
- ・月額利用の設定

この2点の条件が拡充される。

拡充園4園の保護者へのアンケートも参考にし、今回の条件設定を行ったとのことだが、朝8時という時間設定は保育所の開所時間なども考慮している。就労支援も視野に入れた預かり保育。通常園と拡充園との差は大きく、園区設定を含めた検討が今後必要となる。

通常園（福井・東・北・太田・水尾・玉島・沢池・郡・庄栄）

実施日	実施時間	保育料
月～金 (水曜日を除く)	14:00～16:00	400円

拡充園（茨木・西・天王・東雲）

実施日	実施時間	保育料
月～金 (水曜日を除く)	14:00～16:00	400円
	14:00～18:00	600円
	8:00～9:00および14:00～18:00	700円
水曜日	11:30～18:00	800円
	8:00～9:00および11:30～18:00	900円
長期休業日	8:00～18:00	1,200円
	8:00～13:00	700円
	13:00～18:00	700円
全実施日	上記実施時間内において保護者が希望する時間	月額10,000円